

2013年度青島日本人会 総会

議 案 書

2013年4月14日(日)
16時～17時30分
於:青島海爾洲際酒店

第1号議案 2012年度事業活動報告

- (1)全 般
- (2)商 工 会
- (3)生活文化会
- (4)青島日本人学校支援委員会

第2号議案 2012年度会計報告

第3号議案 2012年度会計監査報告

第4号議案 青島日本人会規約改正

第5号議案 2013年度理事及び監事選任

第6号議案 2013年度事業活動計画

- (1)全 般
- (2)商 工 会
- (3)生活文化会
- (4)青島日本人学校運営委員会

第7号議案 2013年度収支予算案

以上

第1号議案

(1)2012年度 事業活動報告(全般)

青島日本人会会長
兼重清史

1. はじめに

会員の皆様、いつも青島日本人会の活動・運営に多大なるご協力を賜り、誠にありがとうございます。また本日はご多忙のところ、本総会にご出席いただき、厚くお礼申し上げます。

皆様におかれましては、厳しい日本・世界経済の環境下、多くの経営課題に直面されておられるのみならず、本社から巨大市場である中国での実績も求められ、またもとより制度・習慣・言葉・文化の異なる当地での仕事や生活は、さぞかしご苦勞の多いことと思います。

さらに昨年の秋には、この青島におきまして日系企業を対象とした暴動が発生いたしました。青島を親日的な土地柄と考え仕事や生活をしていた私達にとりまして、本当に衝撃的な出来事でした。

特に被害に遭われました。企業の皆様方には、改めまして心よりお見舞いを申し上げます。

このような厳しい環境下であればこそ、なお一層、青島日本人会がなすべきことは会員の皆様方との絆をより強め、互いに助け合いの心を広げ、異国の地においてさらに大きな力を発揮できますような、地域コミュニティーを育てていくことであると考えます。

2. 青島日本人会の活動

どうしても、昨年一番の不幸な出来事でありました、暴動のお話をさせていただくこととなります。

青島日本人会といたしましては、速やかにその暴動の翌日、青島市政府宛てに再発の防止、日本人の安全確保、損失の補填について申し入れを行うとともに、その後も継続的に交渉を重ねて参りました。さらに、これまで青島日本人会には危機管理対応的な指針そのものがございませんでしたので、在青島日本国総領事館のご協力をいただきながら、今後有事に際しましては、危機管理委員会の立ち上げを行うことを決定いたしました。また、緊急事態対応マニュアルの策定も行っております。さらに、事前に登録いただいた方に限定されますが、非常事態発生時には、個人の携帯へ日本語で情報発信を行うスキームも構築しています。今回の暴動を機会として、中国国内における、他地域の日本人会や商工会との交流も始まりまし交流も始まりました。今回、黄島に限定した形で暴動が発生いたしました。特に地域ごとのまとまりを強めなければならないと、痛切に感じています。これまでも、近くの日系企業同士で情報交換を行い、連携を深めていらっしゃると思いますが、その輪を少し広げ、エリアごとの日本人会組織としてまとまり、地元単位での市政府や招商担当窓口、公安・消防署とのタイアップが、安全を確保するためにも、今まで以上に求められると思います。さらに緊急避難場所として、近くの外資系ホテルとの結び付きを、さらに強めておくとなお安心でしょう。青島市内から若干離れたエリアにおきまして、以前より城陽区、黄島区、胶州市に日本人会組織はございましたが、相当数の日系企業が進出しています即墨市には、これまでありませんでした。しかしながら今回の暴動を機会として、今年2月、即墨日本人会が新たに立ち上がり、活動をスタートしています。

話は変わりますが、2004年に開校いたしました青島日本人学校も、今年度10周年を迎えました。

すばらしい校舎ですばらしい先生方の指導を受け、日本の将来に明るい期待を持てるような元気いっぱいの児童が、伸び伸びと学校生活を過ごしています。こちらでお仕事をされる親御さん達が、安心して仕事に打ち込むことが可能となるお子様達の教育環境を、青島日本人会としまして、引き続きしっかりと考えて参りたいと思います。青島日本人学校支援活動のみならず、商工会および各部会活動、青島日本人学校支援活動のみならず、商工会および各部会活動、生活文化会、各種同好会におかれましては、昨年度大変多くの会員の皆様にご参加とご協力をいただきました。

各活動の詳細につきましては、この後担当理事の方からご報告をさせていただきますが、これらの活動を通じまして、青島日本人会としての一体感がさらに深まったものと感じています。各部会の活動以外にも、

各種行事の企画・運営につきましては、会員の皆様はもとより、在青島日本国総領事館、JETRO、市政府機関の皆様から多大なるご協力をいただきましたことをご報告申し上げますとともに、重ねて御礼申し上げます。今年度は今まで以上に皆様の会社のご業績が向上し、皆様が快適に異国の地で生活をお送りいただくことができますように、また今年度、日中関係再構築の年として、これまでのように交流が深まっていきますことを切に願っております。今年度も、何卒よろしくお願いいたします。

(2)2012年度 商工会 活動報告

商工会会長 渡部英司

副会長 江口規和、田島譲、田中博之
手代木和人、藤武秀三、北条尚子

1. 2012年度の活動実績

企業を取り巻く環境は昨年激変しましたが、商工会全体セミナーを5回実施し、いずれも90名～100名の出席がありました。

第1回(5/11)

「移転価格と税務上の紛争の状況とその解決策の検討」

「非居住者企業の税務リスクに関する最新動向」

デロイト上海／板谷圭一パートナー、酒井晶子ディレクター

第2回(6/29)

「中国税務・会計の基礎知識及びアップデート」

「中国における不正リスク及びその対応」

KPMG北京／小泉博之パートナー、中川雅人マネージャー

第3回(9/22) JETRO共催

「FTA締結への戦略」 早稲田大学政治学部／深川由起子教授

第4回(12/2)

「中国日系企業におけるリスクマネジメント」

コンサルビューション／高原彦次郎代表取締役社長

「日系企業を取り巻く各種リスク」日本興亜財産保険／船越隆之総経理

「安全対策」 青島日本総領事館／古川真幸副領事

第5回(3/5) JETRO共催

「営業税から増値税への移行、ロイヤリティーに対する関税賦課」

デロイト上海／板谷圭一パートナー

2. 活動内容

商工会では、新しく赴任されたトップの方々のみならず、数年就業されている方々にとっても、法務労務、財務会計のアップデートが必要と考え、基礎講座セミナーを企画しました。それが第1回と第2回の

セミナーです。加えて時流に合わせて、新しいテーマを選びました。

私達企業が目を向けるのは、リスクマネジメントだけではありません。中国における新しい税の動きがあります。今年3月には営業税から増値税への移行に備えるセミナーを実施しました。JETROとの共催を行いました。それらが第3回、第4回、第5回のセミナーです。

さて、2012年は、例年にない状況となりましたので、ここに特記します。

日中国交回復40周年のイベントを控え、和やかな雰囲気の中で、各種交流がスタートしました。夏には、自由貿易がクローズアップされ、FTA戦略をセミナーで取り上げたりもしました。しかしながら、その後状況は激変しました。(中国貿易に長年携わったものとしては大変悔しい思いをしていますが)昨年9月の反日運動から日系企業への襲撃に発展し、経済活動は多大な被害を受けてしまいました。全ての部会においては、秋以降、セミナー等の活動を停止せざるを得ない事態となりました。

その後、秋の党大会を経て、中国、日本、韓国でも政権交代があり、数々の課題を抱えて、新しい指導体制が動き出しました。反日運動が沈静化した年末になって、商工会活動は再開に至りました。このタイミングを捉えて、総領事館から安全対策セミナーを実施して頂きました。

以上ですが、大変緊迫した中でも、何度も集まり、対応した年と言えるでしょう。

商工会の各部会においても、今年、セミナーを中心に、ようやく元気を取り戻しました。

会員の皆様、総領事館、JETRO、そして講師を務めて下さった方々のご協力に改めて感謝申し上げます。

3. 以下参考データです。

(1)2013年3月末の企業会員数は、424社となりました。内訳は、部会別に繊維134社、食品124社、機械・電気・化学155社、流通サービス155社です。2006年当時の305社と比較すると120社余り増加したことになりますが、純増ではなく、企業の進出と撤退が繰り返され、変貌を遂げました。山東省も他省同様に製造製造コストが増加しました。労働集約的な企業は減少する一方、技術の革新、内需の拡大等により、繊維、食品関連企業に加えて、電子産業や物流が発達し、最近では、医療分野や環境分野などの中国の内需に目を向けた企業の進出が目立ちます。一社当たりの投資額も増加の傾向にあります。

(2)JETRO作成中国日本商会白書～山東省編2012年より抜粋。

注目すべきは税収の伸びでしょう。

- ・ 人口全国第2位9,637万人(前年比5%増)
- ・ 地区総生産(GRP)全国第3位 5.13兆元、農業生産、加工食品ともに全国第1位。
- ・ 面積 日本の約4割、17市。
- ・ 在留邦人数3,077人、内、青島2,119人
- ・ 外資企業数 27,147社、内、日系企業 2,555社
- ・ 省内最大の日本人会 青島日本人会
- ・ 公共財政予算収入 4,059.4億元 (前年比17.5%増)
- ・ 内、税収収入 3,050.2億元 (前年比17.2%増)

* 食品部会

部会長 手代木和人
副部会長 蔭島末彦、藤田雅規、前島啓二

1.開催実績

第1回:6月15日 場所:クラウンプラザホテル

① 「食品産業の将来ビジョン」について

講師:農林水産省食料産業局小売サービス課長、兼、食品産業政策課題検討チーム長 池淵雅和様

② 「中国の食品工場における課題と改善の取り組み」

講師:(財)日本冷凍食品検査協会 執行役員 新宮和裕様

第2回:10月12日 場所:クラウンプラザホテル

① 「消費者調査から見る中国市場の切り口」

講師:上海日能綜研企業管理諮詢有限公司(日本能率協会総合研究所)総経理 石川浩一様

② 「防虫防鼠のポイント」

講演:新家麗环境卫生管理(广州)有限公司(イカリ消毒グループ)青島分公司 杉山様

第3回:12月21日 場所:クラウンプラザホテル

① 「中国経済の最近の動向と今後の見通し」

講師:日本銀行北京代表処 次席代表 小池一徳様

② 「最近の賃金動向」

講師:日本貿易振興機構青島代表処 副部長 瀬戸仁志様

第4回:3月8日 場所:クラウンプラザホテル

① 「中国の食品安全行政」

講師:在中国日本国大使館 経済部一等書記官 梅田浩史様

② 「中国日本商会食品グループ活動紹介」

講師:中国日本協会事務局長補佐 中山孝蔵様

2.活動報告

昨年度は、9月の反日デモの影響で、同月開催予定の部会を10月に延期することもありましたが、会員の皆様のご理解とご支援を頂き、一昨年同様年4回の開催回数を維持することが出来ました。

引続き、安全安心を中心とした食品産業のミクロ面の課題に加え、マクロ面の話題も提供させて頂きました。

更に、先月開催の第4回部会では、新たな試みとして、北京中国日本商会食品グループとの交流会を開催しました。

3.2013年度活動方針

1. 部会については、年4回を基本とし、従来同様、食品産業に係る山東省・青島に密着した話題に加え、マクロ的な話題も取上げてまいります。
2. 引続き、青島日本総領事館、ジェトロ青島と連携を密に、必要に応じ、地元政府への働きかけを行ってまいります。
3. 中国日本商会との連携による一般情報の共有化により、部会開催以外の活動も検討してまいります。

* 繊維部会

部会長 田島 譲
副部会長 鈴木純一、山田眞久

1. 部会開催状況

残念ながら計画していた黄島地区での第2回部会の開催を中止した。

9月15日に抗日という名のもとに他国では前例のない無法騒動(破壊、略奪)が勃発し多くの日系企業が被害にあわれた。部会を黄島地区で開催し海底トンネル開通や黄島地区の開発ラッシュ、違和感を感じる5☆ホテルを直接に見て中国の経済発展の勢いを認識する企画であった。中止となり極めて遺憾な結果となった。

第1回 6月 21日

会議場所:クラウンプラザホテル

懇親会場所:海島漁村 美食街(工場直送の出来たて生ビールで安くて、量多く、美味しい海鮮料理)

第2回 9月 20日.....中止

会議場所:ライオン社見学/ケンピンスキー黄島ホテル

懇親会場所:ケンピンスキーホテル(自家製ビールでドイツ料理)

第3回 1月 18日

会議場所:ホテル麗晶

懇親会場所:青島市内の日本料理店

第4回 3月 22日

会議場所:クラウンプラザホテル

懇親会場所:青島市内の日本料理店

2. 活動内容

- ・2013年3月末の会員会社数は142社で昨年対比9社増加しました。
- ・活動内容は昨年度と同じように毎回の部会内容に趣向をこらし、出席すれば有益と思って戴ける方を増やし、参加者を増やす事を目標にして幹事一同、工夫をした所存であります。主な活動内容は下記の通りです。

①情報提供

- ・青島領事館から(首席領事より)管内情勢、安全情報の提供
- ・JETROから中国国内の経済・制度などの最新の情報提供
保存版資料は労働争議関係資料 ⇒希望者はJETRO事務局へ依頼してください。
- ・部会幹事から繊維関係+中国全般の情報+自己啓発推奨本など多岐な情報提供
保存版資料は中国共産党60年の歴史 ⇒希望者は日本人会事務局へ依頼してください。

②会社紹介(少しのPR)と役立つ関連情報の提供

1回 FBSE(富博系統工程有限公司)

2回 Wellbe

3回 北京凯迪迪爱通信技术有限公司青島分公司(日本親会社名:KDDI)

日本興和財産保険(中国)有限責任公司 (日本親会社名:日本興和損保)

3. 2013年度の活動(抱負、方針)

- ・参加者増の方針は継続し、部会メンバーの相互交流をさらに深めたいと考えています。
- ・部会幹事が変わりますので新たな視点を取り入れながら、会員の皆様の御意見、ご要望を拝聴し部会に出席したら有意義であると思って戴ける活動を企画し実行していきます。

*機械・電機・化学部会

部会長 田中 博之
副部会長 蓮見 昌治

2012年度は、以下の通りセミナー6回、工場見学会1回を開催しました。

第1回:前半セミナー、後半座談会

1) 日 時:2012年5月15日(火)15:30 ~ 17:00

2) 場 所:クラウンプラザ 3階

3) 内 容:「今年の賃金傾向、青島市の概況」講師 北条尚子【ジェトロ青島事務所所長】
山東與田法律事務所 李弁護士
青島三人行税務管理諮詢事務所 習税理士

第2回:各社自社紹介

1) 日 時:2012年6月26日(火)14:40 ~ 17:30

2) 場 所:麗晶大酒店

出席の各社が自社ならびに自社製品の紹介を会員相互の交流をはかる。

第3回:セミナー

1) 日 時:2012年7月27日(金)15:30 ~ 17:30

2) 場 所:クラウンプラザホテル 3階

3) 内 容:山東省ならびに青島市の政治経済動向について
講師:下地富雄(在青島日本国総領事館首席領事)

4) 懇親会:「八坂」

第4回:工場見学会

1) 日 時:2012年8月31日(水)15:30 ~ 17:00

2) 場 所:クラウンプラザ

3) 内 容:「国際都市青島—20世紀前半を中心に」
講師:山本一生(早稲田大学教育総合科学特別研究員)

第5回:セミナー

1) 日 時:2012年10月26日(木)15:30 ~ 17:30

2) 場 所:クラウンプラザホテル 3階

3) 内 容:「山東省における自然災害と火災のリスク」
講師:船越隆之(日本興亜火災財産保険(中国)有限公司山東分公司)

4) 懇親会:日本料理「月山」

第6回:工場見学会

1) 日 時:2012年11月22日(月)15:00 ~ 17:45

2) 場 所:青島光和精工有限公司

第7回:セミナー

1) 日 時:2012年12月14日(月)15:30 ~ 17:30

2) 場 所:クラウンプラザホテル 3階

3) 内 容:事例で見る中国労働法規に関する最新動向について
講師:熊 琳 弁護士(大地法律事務所)

今年も年8回の開催を予定しましたが9月の暴動発生で急遽中止し年7回の開催となりました。

工場見学会を快く引受け熱心に説明して頂きました企業様並びに無償にて講演して頂きました各講師様、また転勤される12月まで熱心にこの部会を牽引された北野部会長に心より御礼申し上げます。

2013年度もセミナーや工場見学会、会員との各種情報交換会等を開催していく所存です。

引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

*流通サービス部会

部会長 江口規和

副部会長 高橋伸彦、上村等、樋口達之

1.総括

流通サービス部会は、約160社の企業が所属する非常に大きな部会です。

所属会員企業の業態が多岐に亘り、そのことから業界全般に所属企業が散らばる部会でもあります。

運輸物流、倉庫、小売り、各種サービス(医療、食事、ソフト、人材派遣など)のように業態が多岐に亘るため、テーマを絞ることが難しいものの、2012年度は試行錯誤の上3回の開催をすることが出来ました。毎回テーマを変え、とはいっても講演、参加所属企業の皆さんとの懇親が主体となり、2011年度のように外(工場見学)に出ることが残念ながら出来ませんでした。

テーマは第一回目「中国の生命保険について」としてのご講演を頂き、身近な問題でありながら意外と中国での現状を知らなかったことを認識することとなり、非常に興味深い内容でした。

第二回目として、流通という観点から「12ft コンテナ輸送」として青島から日本への輸送形態のご講演、また「駐在員の安全について」として、改めて我々の安全面を見つめるという機会を講演を通して提供させて頂きました。第三回目として、時期的にちょうど2013年全人代の開催、また青島市の最低賃金の改定発表があったことから、「中国・山東省の情勢」「山東省、青島の最近のトピックス」のご講演を青島日本国総領事館、及びJETROから行って頂き、更には人事面に的を絞り「知っておきたい人事の決まりと対策」のご講演を行って頂き、普段なかなか聞けない人事面での悩みなどを懇親会での会話も含めて情報共有させて頂きました。毎回30名前後の所属会員企業のご参加のもと、盛況な会を催すことができ、会員企業の相互交流や意見交換、更には所属会員企業の皆様の青島における企業活動の一助となったのでは、と思っております。

2.活動内容

第1回 6月21日(木) 場所:麗晶大酒店3階

懇親会:八坂

① 講演:北大方正人寿保險有限公司 助理經理 山本 匠様

テーマ “中国の生命保険について”(団体保険、中国の生命保険業界の概況)

第2回 11月23日(金) 場所:クラウンプラザ3F

懇親会:月山

① 講演:日本通運(株) 肥田孫寛様

テーマ “12ftコンテナ輸送”

② 講演:上海威爾比醫療諮詢有限公司 青島事務所所長 川上三千雄様

テーマ “駐在員の安全について”

第3回 3月25日(月) 場所:クラウンプラザ3F

懇親会:八坂

① 講演:在青島日本国総領事館

テーマ “青島日本国領事館の中国・山東情勢” 首席領事 加藤英次様

② 講演:JETRO青島事務所 副所長 山本 諭様

テーマ “山東省・青島の最近のトピックス”

(最低賃金、賃金ガイドライン、山東省・青島市政府活動報告など)

③ 講演:高貝思科技(青島)有限公司 総經理 権藤 晃様

テーマ “知っておきたい人事の決まりと対策(残業代編、人事異動編)”

3.次年度について

2013年度も2012年度に引き続き、試行錯誤の中、所属会員の皆様に有益な情報提供が出来るような形で部会を運営していきたいと思っております。その中で、出来るだけたくさんの所属会員企業に部会に参加頂きたいと切に願っております。所属会員企業からこんなテーマに取り組んで欲しい、こういう会にして欲しい、こういうところに行ってみたい、などのご意見がございましたら是非ご提供頂ければと思います。皆さんでこの部会を作り上げていく、盛り上げていくという形で是非ご協力、ご支援を頂きたく引き続きよろしくお願い申し上げます。

2012年度 青島日本人会生活文化会 活動報告

生活文化会会長 青木邦夫
副会長 江口規和、藤田雅規 加藤英次、上村等

生活文化会は、青島日本人会という日系コミュニティの融和と繁栄を目的に、会員各位の青島での充実した潤いのある生活の実現を図るため、在青島日本国総領事館、青島日本人会の各部会、青島日本人学校等と連携して各種の親睦活動や生活文化関連の様々な取り組みを行っております。

生活文化会には、「婦人会」、「5つの同好会(2013年4月1日現在)」が帰属し、其々が青島において活発な活動・運営を継続しており、これらの活動・運営への支援を行っております。

他方、地域図書室「ちんたお文庫」の活性化と運営全般、生活情報配信「月刊青島」の運営・編集にも密接に携わりながら協力・支援を続けております。

また、日本人会の皆様の安全を確保し、快適な青島での生活を送って頂くため、在青島日本国総領事館と連携し、安全関連情報の収集、配信にも努めてまいりました。

主な行事活動

2012年度におきましても、昨年度同様、生活文化会主催で様々な行事を企画し、会員の皆様のご協力ご支援を得ながら各行事を進めてまいりました。

2012年度に生活文化会が取り組みました主な活動につきご以下報告申し上げます。

1.2012年5月18日(金)松平定知氏講演会「日本と中国～シルクロード～」

ANA歴史大使である元NHKアナウンサー・松平定知氏を迎え、シャングリラホテルにて全日空主催、日本人会協賛により表題の講演会を開催しました。当日は番組での軽妙な語り口を聴けるとあってか、日本からのツアー参加者約30名を含む135名の参加者となり、「日本と中国～シルクロード～」をテーマに約1時間の講演に参加者が耳を傾け、大変有意義な講演会となりました。講演を快くお引き受けくださった松平先生、及び全日空関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

2.2012年6月16日(土)「青島日本人会運動会」

昨年同様青島日本人学校の体育館にて開催。当日は183名の方が参加し、赤、青、白組によるチーム対抗戦で、ビーチバレーボール、綱引き、玉入れ競争、飛行機/スリッパ飛ばし、障害物競走、棒取りゲーム、スプーンピンポン玉リレー等各種競技に熱戦を繰り広げました。特に最初の種目ビーチバレーボール、各組精鋭12人選抜による最終競技の二人三脚リレーは大いに盛り上がり、最終的には赤組の優勝となりました。大人は童心にかえり、子供たちも無我夢中で取り組み、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

3.2012年12月15日(土)「フリーマーケット&スポーツ大会」

青島日本人学校の体育館をお借りし、午後13時より16時までフリーマーケット&スポーツ大会を開催当日はお子様、日本人学校生徒含む約80名の方が参加され、家庭内の不用品、野菜、食品(調味料、お菓子)、冷凍食品、寝具等会員企業からの商品を出展、掘り出し物も多数ありました。販売価格は出展者が自由に価格設定し、売上金の一部を青島日本人学校に寄付させて頂きました。またフリーマーケットの合間にビーチバレーボール大会を開催日頃の運動不足解消と会員相互の交流を図りました。

4.2012年1月26日(土)「新年会」

青島日本人会最大のイベントである新年会を、今年は場所を海景花園に移し開催致しました。

大人・子供合わせて約400名の会員の方々に参加頂き、盛大な会となりました。

今年は初めての試みとして、「前売り券」発売で事前にテーブル席を予約できるようにしたため、受付での混乱も少なく、会員の方々に比較的スムーズに入場して頂くことが出来ました。

獅子舞により開会、「変面」、「日本人学校先生&生徒による合唱」、「各同好会の紹介」とプログラムが続き、毎年恒例の豪華景品が当たる「プレミア抽選会」では、番号発表のたびに場内で歓声と嬌声が渦巻き、最後に中締めでお開きとなりました。

昨年に比べやや手狭な会場とはなりましたが、逆にアトホームな雰囲気の中かで会員の皆様方には交流を深めて頂いたのではないかと思います。

5.2013年3月9日(土)～3月11日(月) 青島ジャパンディブランド展開催

3月9日～11日の3日間、JETRO主催により青島イオン東部店の1階特設イベントスペースにてジャパンブランド展が開催されました。当初予定していたジャパンディーから諸般の事情によりジャパンブランド展(日本物産展)として開催、マグロ解体ショーのイベント等も行なわれ、食品メーカーを中心とする会員企業10社を含む24小間のブースが出演。福島県、茨城県、群馬県の関係者も出演し、それぞれの観光地や特産品の紹介を行いました。

週末は多くの来場者がブースを訪問、試食や実際の商品を手にとり日本食に興味を示していました。やや規模を縮小しての開催となりましたが、ジャパンブランドの普及、訪日観光の促進、日本食の魅力発信等の目的は十分果たせたと思います。

チャリティ運動会、新年会、青島ジャパンブランド展等の開催にあたっては、様々なご支援・ご協力を頂いた関係各位、経済環境厳しいおたくさんの景品をご提供頂いた会員企業の皆様、早くから会場で準備を頂いた皆様、会運営にご協力頂いた婦人会、同好会をはじめとするボランティアの皆様のお蔭で、会員相互の交流・親睦を深める非常に有意義な行事とすることが出来ました。改めて御礼申し上げます。

また、上記以外に生活文化会としましては情報誌である「月刊青島」の発刊。日本人が多く住んでいる銀都花園にある「チンタオ文庫」、婦人会、ゴルフ、テニス、ソフトボール、ヨットの体育会系と写真、青島歴史研究会の文科系同好会。そして昨年の反日運動や鳥インフルエンザなど私ども青島に住む生活者の安全という面で総領事館と一緒に活動しています。以下にそれらの活動報告を載せましたので、ご一読願えれば幸甚です。

今後とも会員皆様のご支援でより有意義な活動を行っていけるよう取り組んでまいりますので、引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

ちんたお文庫活動報告

前期役員 有原、石中、名倉

後期役員 石中、名倉、前島

文庫蔵書総数 約8100冊

新規会員年間総数 33人

年間利用者延べ数 1558人

寄贈本年間冊数 1140冊

1. 役員活動内容

- ・ アルバイトへの仕事内容指示、チェック(週に一度)
- ・ アルバイト休みの際の開館(24年度は実績ゼロ)
- ・ 文庫休館のお知らせ作成
- ・ 文庫内大掃除
- ・ 蔵書整理(古い本の処分など)
- ・ 延滞者、帰国者などの管理

2. 今年度活動報告

- ・ 役員会 8回(内日本人会にて2回)
- ・ 大掃除、蔵書整理 3回
- ・ 重複本、古い本の廃棄
→文庫内および銀都開催のフリーマーケット(5月)にて「ご自由にお持ち下さいコーナー」設置
- ・ 「本紹介カード」新規作成・配布・文庫内掲示
- ・ 「人気本」の紹介 文庫内掲示
- ・ 文庫内掲示板の設置・季節の飾りなどより親しみやすい雰囲気作り
- ・ アルバイトの冬の寒さ対策 考案

3. 総括

2011年1月に現在の銀都花園内に移転したちんたお文庫は、その年の3月からは開館時間も大幅に拡大し、益々利便性が高まりました。

本年度は現行の体制が整ってから2年目を迎え、それまで増加し続けてきた来館者数も夏以降は前年を下回る月が見受けられるようになっていきます。(※利用状況資料参照)

その原因はアピール不足もあったのかも知れませんが、それ以上にちんたお文庫の存在が広く認知され、成熟期に入ったものと考えられます。文庫内におきましては、利用者の皆様に本への興味を持っていただくために、「紹介カード」「人気本の紹介」のコーナーを設けました。まだ始まったばかりの活動ですので、皆様へ広く浸透していくにはもう少し時間がかかりそうです。

4. 次年度への課題

本年度も皆様からたくさんの寄贈本をいただき、本棚の空きスペースが少なくなってきました。今後は蔵書整理を更に大胆に行い、利用者の皆様に新着本をすぐに手に取っていただけるような環境づくりが必要になってくると思われます。アルバイトの学生さんも3月から新しい方が加わっています。開館にあたり現在のところ大きな問題はありませんが、ボランティアメンバーの減少が懸念材料となっております。(3月末現在16名)

又、利用されたことのない方からは、「きっかけがないと登録しづらい」というお声もいただきました。

そこで次年度は「新規会員登録デー」を設け、新たに登録にいらした方へ利用方法と手続きのご案内がスムーズにできるよう、充実を図って参りたいと思っております。

ちんたお文庫は、会員の皆様のご協力のもとに成り立っている図書館です。新たに新規登録される方にはボランティアメンバー参加の案内を、また、既存会員の方で未だボランティア登録されていない方につきましては、メンバー登録にご協力いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

※利用状況資料

年間利用者													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本年来館者①	105人	125人	126人	167人	144人	152人	122人	107人	141人	134人	95人	140人	1,558人
昨年来館者②	27人	79人	48人	41人	203人	183人	112人	119人	119人	76人	98人	109人	1,214人
増減①-②	+78人	+46人	+78人	+126人	-59人	-31人	+10人	-12人	+22人	+58人	-3人	+31人	+344人
新規会員	1人	7人	0人	3人	2人	6人	2人	0人	5人	3人	3人	1人	33人
新規登録本	65冊	57冊	36冊	225冊	40冊	80冊	94冊	94冊	98冊	72冊	24冊	255冊	1,140冊

* 情報誌「月刊青島」

青島をもっと知って、もっと楽しくをモットーに2009年6月号より毎月10日発刊予定で定期発刊を続けています。毎号特集記事と連載、会員のリレーで編集しています。月平均約900回のクリック回数があり青島の情報誌として定着してきました。特にWEB誌ということで原稿のサイズにとらわれず、印刷にかかる経費、時間の軽減にメリットがあります。役に立つ生活情報や、「青島」の縁を大事にして今年も数多くの皆さんが誌面に登場していただく構成にしてゆきたいと思えます。毎月、編集会議を行っています。編集に興味ある方はぜひ名乗りを上げてご参加ください。また、新企画についてのご提案も常に受け付けております。

(参考) 特集記事

- 4月 はじめてのチンタオガイド
- 5月 日本人会理事たちに聞きました。
- 6月 公認同好会座談会
- 7月 青島的ビールの楽しみ方
- 8月 日本人学校のこれまでとこれから
- 9月 ビール祭り現地レポート
- 10月 秋にピッタリ青島歴史散歩
- 11月 青島ハイキング特集
- 12月 チンタオの冬の楽しみ方
- 1月 新しい年に寄せてー新年コメント
- 2月 若き志士たちー2013座談会
- 3月 青島でスマホを買うなら&おすすめアプリ

<http://www.qingdaojs.org/qd-nihonjinkai/gekkanqingdao/gqtop.html>

*各同好会および婦人会活動報告

*婦人会活動報告

会員数:38名(2013年4月現在)

毎年4月に行われる総会、年2回の定例会、12月に行われるクリスマス会が活動の中心です。定例会ではイベントを開催し、昼食をとりながら会員相互の紹介し、親睦を深め、青島での暮らしに係わる情報交換などを行っています。
また新しく青島に来られた方が1日でも早く青島の生活に慣れるように様々なアドバイスやお手伝いをしています。

2012年度の活動報告

総会・定例会の開催に加え、11月・1月には交流会を開催しました。
前年度同様、婦人会専用Yahooメールアドレスを引き継ぎ使用し、日本人会から配信される各種イベントや生活情報、同好会や女性を対象としたイベントの案内を配信しております。
婦人会活動を広く多くの方にご覧いただくことを目的に、チンタオweb様のご協力の下、無料にてチンタオweb上に掲載中です。また、日本人会のwebマガジン「月刊青島」にて婦人会の記事を連載しました。様々な店舗様ご協力の下、割引や特典が付く婦人会カードを発行しました。

活動内容

2012年	4月	総会「紫霞門」	参加者:22名
	6月	定例会「華東ワイナリー」	参加者:16名
	10月	定例会 日中関係悪化により中止	
	11月	交流会「The CANVAS」	参加者:29名
	12月	クリスマス会「ル・メリディアンホテル」	参加者:33名
2013年	1月	青島日本人会新年会の受付ボランティア	参加者:8名

来年度の抱負・計画(案)

青島日本人会生活文化会内の組織として、青島に在住される日本人女性の親睦・交流の場となるようなイベントや懇親の機会を企画し、より開かれた形で多くの方が気軽に参加できる形を整えていきたいと思っております。また、メールによる生活情報発信、日本や青島外からの問い合わせには個別に対応することで、新たに青島へ来られる方の海外生活への不安を取り除き、新生活がスムーズにスタートできるようバックアップしていきます。会員の皆さんが楽しく有意義な家庭生活が送れるように婦人会の輪が大きく繋がり合うことに微力ながら努力していきたいと思っております。

年間主要行事(予定)

総会	4月
定例会	6・10月
クリスマス会	12月

*ゴルフ同好会活動報告

会長 江口規和
事務局長 山口真一

2012年度	開催日	開催地	参加人数
第96回	2012年4月21日	海洋旭宝	29
第97回	2012年6月11日	青島華山	48
第98回	2012年7月9日	青島国際	47
第99回	2012年9月3日	東方生態	49
第100回	2013年3月30日	青島国際	46
		のべ参加者数	219

2012年度も例年通り5回のコンペを別々のコースで開催し、毎回50名前後の参加者が熱戦を繰り広げました。2013年3月の第100回記念大会は、イオン様にご協賛いただき盛大に開催させていただくことが出来ました。青島イオン様をはじめ数多くの企業様、団体様から賞品を提供いただきました。ご協賛くださった企業様団体様各位に改めて感謝を表しますと同時に、今後も広く会員の皆様方よりのご協力・ご協賛をお願い申し上げます。2013年度は5月の開幕戦を皮切りに計4回のコンペを予定しております。より多くの皆様にご参加いただき、個人成績・平均スコアのレベルアップを図りながら、楽しめるような内容の濃いコンペを企画して参りますので、引続き宜しくお願い申し上げます。

*テニス同好会

会長 宮前和哉
会計 大橋一夫

1.会概要

目的: テニスの技術向上と練習を通じての相互親睦と心の癒しの場の提供

会員数: 2013年3月末現在、会員数32名(男性30名/女性2名)にて運営

会費: 600元/半期(高校生以下は300元)

活動場所/時間: 銀都花園テニスコート、毎週日曜日 9:30~12:30

練習内容: 9:30~11:00 レベル別スクール形式での練習

11:00~12:30 レベル別試合形式での練習

(12:30~ 昼食会、但し自由参加)

2.年間活動

定期活動: 上記した日曜日の定期練習

対外試合: ①6月2日 天津テニス同好会との団体戦

②9月9日 青網杯(青島にて行われる団体戦)

送別会など: 帰国及び異動される方がいる場合適宜実施、12月クリスマスパーティー

【収支】

前年度繰越金 1,657元

12年度収入 32,801元

12年度支出 27,690元

次年度繰越金 6,768元

3.2012年度総括

当会はテニスが好きなが人が毎週日曜日に集まって練習を主な活動としています。

技術向上は当然の事ながら テニスを通じて会員の方々に心からリラックスできる場を提供する事をモットーとして初心者経験者に関わらず、幅広い年齢層を受け入れこの一年間運営してきました。会員の皆さんの協力もあり非常に良い雰囲気で運営できていると感じています。

今後は韓国チームや中国他地域日本人チームなどとの交流戦を増やしていき、チームとしての団結する機会や練習の成果を試す機会をもっと増やすつもりです。またすでに青島を離れたOB・OGの方々が青島に戻ってきた時に、いつでも気軽に寄ることが出来るアットホームな雰囲気で今後も継続して運営していきたいと思ひます。

* 青島ソフトボール同好会

1.会概要

「本会は、ソフトボール及び野球を愛する会員の、相互親睦と技術向上を主たる目的とする。」

2012年12月末現在、一般会員67名(男性61名／女性6名)から成り、小林(会長)が会員より選任した、20名の委員で運営委員会を構成する。(運営部、企画部、広報・渉外部、会計部、事務局の計5部門)

活動場所:科技大学グラウンド、活動時間:午前8時15分～正午。

年会費:800元(成人男性の例) ※注 2013年度は、600元(男性)に年会費を改定。

2.年間活動

1月のドラフト会議で、本年を戦う3チームと選手を決定し、2月26日に開幕戦ー12月9日を最終戦とした、10ヶ月間に及ぶ“青島ソフトボールリーグ戦『2012』”を開催。

毎週日曜日に総当たり戦3試合を実施、各チームが62試合を消化し、12月16日の優勝決定戦を経て2012年度優勝チームを決定。優勝チームの表彰と優秀選手の表彰を同好会総会にて実施。

3.特別活動

上海で開催の華東地区ソフトボール大会へ3チーム編成で出場し2チームが見事、優勝、準優勝を果たす。また他にボーリング大会、ゴルフコンペ、BBQ大会などを開催。

「2012年 月別活動実績」

	リーグ戦以外の行事など	賞品協賛
1月	ドラフト会議／同好会新年会／ボーリング大会	光輝工芸品様
2月	リーグ戦(前期)開幕／プレイボールパーティー	
3月	ゴルフコンペ	朝日緑源様
4月		ナクシス様
5月	4連覇となる第6回華東地区ソフトボール大会優勝	セコム様・光輝工芸品様
6月		三東服装様
7月	前期終了／バーベキュー大会／ゴルフコンペ／後期開幕	朝日緑源様
8月	中国人学生交流練習試合	
9月		ナクシス様
10月	青島SB同好会15周年記念静岡大会(日本開催)	緑源沙瀧様
11月	第7回華東地区大会、焼酎チーム優勝、BEERチーム準優勝	
12月	後期終了／優勝決定戦／同好会総会／忘年会／	
その他	日本人会主催各種行事への参加と協力を行う。	

2012年度は、当初より帰任・転出者が多く、14名もの会員を送別会にて見送った1年でした。

しかし一方で、それを上回る人数の新規入会者を、仲間として同好会へ迎えることができました。これは、会員の努力もさることながら、日本人会や各企業様が同好会の紹介をいただき、また賞品ご協賛などの多大なるご支援のおかげと感謝致します。有難うございました。2013年度も、会員の笑顔が絶えない、楽しく魅力的な、同好会活動を実施いたします。

*ヨット同好会

1.会概要

代表:西垣健作

会員:大人13名、子ども8名

私たちは主に奥帆中心にあるマリーナで中国のヨットクラブと共同で活動を行っています。

2.年間活動

5月 昨年からの経験者活動開始。

1日体験会を行う。(子ども5名が参加)

6月-7月 子どもヨット教室活動開始。

(タッカー、OPビギナー、OPアドバンス)

各チーム3-4名に分かれ毎週末活動を行う

クラブ内レース参加(6月30日)(7月22日雨天中止)

8月 夏休み中は個人的にクラブに申し込み中国人の子どもと共にレッスンを受ける。

9月-10月 子どもヨット教室(秋の部)活動開始

ヨットレース参加(10月7日)

大人は20時間のレッスンを受けた後、個人でヨットをレンタルし活動を行う。

ポンツーン改装工事の為、終了。

11月-3月 活動なし。

3.今年度の目標

・子ども達は中国の子供たちと一緒に練習を行い、毎月行われるレースに参加したいです。

・大人の会員は合同練習を提案していきたい。

大人も子どもも会員募集中です。興味がある方は是非ご参加ください。

*青島写真同好会

会長:平田至範(連絡先 15553215582)

副会長:安川誠(連絡先 18663835022)

事務局:小野洋平(連絡先 18661812066)

2012年度	月例開催日	開催地	月例会テーマ		
4月度	4月15日	キヤノン青島事務所	①映り込み	③自由	
5月度	5月20日	キヤノン青島事務所	①春	③十梅庵	④自由
6月度	6月17日	キヤノン青島事務所	①古い建物	③自由	
7月度	7月15日	キヤノン青島事務所	①海山	③自由	
8月度	8月19日	キヤノン青島事務所	①夜景	③自由	
9月度	9月16日	キヤノン青島事務所	①路地	③自由	
10月度	10月21日	キヤノン青島事務所	反日デモにより自粛		
11月度	11月24日	キヤノン青島事務所	①植物	③自由	
12月度	12月22日	キヤノン青島事務所	①山	③自由	
1月度	1月20日	キヤノン青島事務所	①ぬくもり	③自由	
2月度	2月24日	キヤノン青島事務所	①正月	③自由	
3月度	3月17日	キヤノン青島事務所	①春節	③自由	

撮影課題(テーマ)を決めて撮影した写真を持ちよって鑑賞評価を行い、入賞作品は青島日本人会HP「月刊青島」やフリー雑誌「コミュニケーション」等に掲載されます。

また、毎年行っている撮影会や撮影旅行では、2012年度は4月8日に十梅庵での鑑賞撮影会、11月18日にキヤノン様のご協力による労山遠足での撮影会を実施しました。

「写真同好会」と言うと、メガネを掛けて大きな一眼レフを首から下げたマニアックな人たちを想像されがちですが、実際には、ただ写真を撮るのと皆で楽しく会話をするのが好きな人たちの集まりです。

女性の方々にもたくさん参加していただいています。

もちろんカメラはデジカメであれば何でもOKです。

写真と頭のピンボケ防止にぜひご参加ください！！

*安全活動委員会

総領事館開設(2009年)以降、在中国日本国大使館より医務官の派遣を頂き、鳥インフルエンザを初めとする中国内での発症例を中心に安全面の啓発を行っています。

本年は、大気汚染から来るPM2.5の実態と予防について講演いただきました。(3月19日)

一方、9月の反日暴動が発生し、緊急理事会を開催し、総領事館とも協議して緊急事態対処要領を作成。

その中で会員への緊急連絡の必要性が高まり、現状のメールによる通信のほかに携帯電話に直接、

日本語で通知する方法を取り入れることとしました。登録申請があれば、(原則として日本人)

広く家族にも届くものです。今後も海外で生活するコミュニティの重要な柱として青島総領事館と連携をとって安全活動を行ってゆきたいと思えます。

*青島歴史研究会

青島日本人会は2010年に20周年記念として青島日本人学校の庭に石碑と植樹をしました。

その節、戦前に青島で生活され、日本で青島会を主宰されている諸先輩と交流会を催し、ブログを掲載されていた足立吉弘様(故人)を中心に、戦前の日本人社会、歴史的建物の講話、見学をしてきました。

また、諸先輩がより、当時の貴重な写真、会誌を提供いただき、日本人学校の一室に資料室をつくり、保存しています。

2012年も9月に80歳以上の方が4人お見えになり、その中のお一人88歳の米寿をお祝いしました。

戦前に0歳で日本に引き上げた人も既に68歳で、少しは記憶に留めているという方を仮に10歳としますと青島に迎えて交流することは難しくなってきました。

また、青島日本人会発足後23年間で、青島で過ごした沢山の方が、日本に戻られ、各地で青島会を催しておられます。この会と何らかの連携をとっていくことも思考しております。

(4)2012年度青島日本人学校支援委員会活動報告

青島日本人学校支援委員会
委員長 折口 史明
加藤英次、手代木和人、藤武秀三

「青島日本人学校支援委員会」は、日本人会が日本人学校の設立母体であることを踏まえて、同校の健全な運営にあらゆる側面から協力・支援する企画を立案し、理事会または総会の了承の下、実施する会であります。

〔学校の概況〕

- ・2012年は、9月に黄島地区の暴動事件によって運動会の延期や学校施設の警戒などあったものの児童生徒の学校生活は概ね平穩に過ごせたと思います。
- ・今年には日本人学校を設立して9年目にあたり、小学校1年で入学した児童が、中学3年までめでたく9年間通った卒業生が出ました。
- ・そういう中で支援委員会としましては、例年、10万円の寄付を行っておりますが、学校経営上、何よりも重要なことは児童・生徒の人数を増やすこととあります。そのためには、もっと青島日本人学校を知っていただく必要があると考え、学校のPR用ビデオを作製しました。これを会員の皆様を通じてご本社人事担当重役にお話し頂き、100名前後で推移している現状から抜け出る一助になればと企画しお届けしました。
- ・また、学校創立以来、授業料は据え置いてきましたが、水準を維持していくために、授業料の改定に踏み切らざるを得ず、中国各地にある日本人学校も参考にしながら、2013年度からの改定を協議し、了承されました。

〔組織変更〕

- ・後ほど、規約改定で審議されることとなりますが、これまで、支援委員会という名前で側面から援助のような印象を与えておりましたが、日本人学校は私学であり、日本人会が運営母体であることから、2013年度より日本人会組織において支援委員会を廃し、学校運営委員会を日本人会の組織に組み入れ、学校との関係をより密度の濃い体制にしてゆくこととします。
- ・今後とも学校経営、特に在校生徒の確保にご尽力願いますようお願い申し上げます。

〔参考〕児童・生徒数

2004年4月:6名	2005年4月:22名	2006年4月:61名
2007年4月:77名	2008年4月:89名	2009年4月:98名
2010年4月:95名	2011年4月:113名	2012年4月 98名

教職員

- ・校長： 阪間 猛
- ・教員： 文部科学省派遣教諭（校長含む）9名、現地採用常勤講師3名
- ・事務員： 2名

施設 青島市北区同興路76号

入学条件等

- ・入学資格:原則として、青島市及びその周辺に在住する日本国籍を有する子女
- ・入学金: 10,000元、授業料 月額3,000元(スクールバス費用は、別途必要。)

ホームページ <http://www.qingdaojs.org/>

第2号議案

2012年度会計報告
(2012年4月1日～2013年3月31日)

2013年3月31日
(単位:人民元)

収入の部		支出の部	
1、前年度繰越金	371,072	1、事務局費	211,605
2、2012年度会費収入	362,700	2、商工会活動費	61,050
3、2013年度前受金	233,600	全体会	17,400
4、臨時会費収入	131,380	部会	43,650
・総会懇親会会費	38,500	3、生活文化関連費	84,913
(大人188名*200元)		婦人会	1,100
(子ども9名*100元)		文庫	35,235
・新年会懇親会会費	92,880	運動会	1,169
(大人345名*250元)		月刊青島	39,287
(子ども51名*130元)		歴史保存会	8,121
5、銀行利子	8,448	予備費	0
6、その他		4、会議費	141,850
寄付金	16,890	総会	44,465
		新年会	97,385
		5、日本人学校支援費	106,142
		6、ジャパンデー関連行事	10,003
		7、情報整理(H.P改修等)	2,000
		8、特別講演会の開催	13,110
		9、安全対策セミナー	12,449
		10、予備費	0
		*次年度繰越金	480,968
		内233,600は13年度会費収入	
【合計】	1,124,090	【合計】	1,124,090

第3号議案

監査報告

青島日本人会規約に則り、第22期(2012年4月1日～2013年3月31日)の会計検査を
関係帳簿・信憑書類に基づいて実施したところ、全て厳正に処理されていることを
確認いたしました。

2013年4月14日

青島日本人会 監事

清水康継
井口 聡

第4号議案

青島日本人会の規約改正趣旨説明

今回の規約改正のポイントは2点あります。1点目は従来「規約」一本であったものを規約「理事会規則」「会員規則」という構成に変更しようということです。2点目は青島日本人学校の位置付けを「規約」の中で明確にしようということです。1点目に関しましては、青島日本人会の規模拡大に伴い、かなりの部分を理事会で決めていかないと会そのものの運営に支障を来す可能性があるという現状がその背景にあります。青島日本人会は1990年に設立されてから徐々にその規模は拡大し、今では400社を超える会員企業が所属する大きな組織となっております。

今回の定期総会に際しても、総会成立に必要な定足数である2分の1以上の正会員の出席・委任状を取り付ける作業に事務局が四苦八苦しているのが現状です。

定期総会ですらそのような現状であり、まして臨時総会となると略開催が困難な状況となっているのが現実です。そのような現状を考え、理事会にてかなりの部分を決めて行かないと本会の運営が成り立って行かないという現実を踏まえて、今回、「規約」とは別に新たに「理事会規則」「会員規則」を制定して、本会の運営をより効率的に進めようというのが改定の趣旨です。

2点目に関しましては、これまで「規約」の中では青島日本人会における青島日本人学校の位置付けがやや不明確な状態となっていました。一方、青島日本人学校の最高意思決定機関である「学校運営理事会」は本会の推薦する理事が3分の2を超える構成となることが「青島日本人学校規則」「学校運営理事会規則」で規定されています。即ち、実態として本会は「青島日本人学校」の運営に対して責任を負っております。学校代表も本会の推薦する理事が就任しております。そうした現実を踏まえ、「規約」の中でも「青島日本人学校」の位置付けを明確しておく必要がある為、今回改正を提案しております。

日本人会規約の改正

第1条(名称)

本会は、青島日本人会と称する。

第2条(会の目的)

本会は、中華人民共和国青島市およびその周辺に在住する日本人及び日系企業が、安全かつ快適に生活すると共に円滑な企業活動を継続することに資するべく、会員相互の親睦・福利の向上を図り、併せて生活並びに企業活動等に必要な社会、文化、習慣、法律・会計・労務制度等の知識向上の機会を提供することを目的とする。

第3条(非営利性・公平性)

本会は、前条の目的を達成するため、本会の活動は会員全体への公平な対応及び還元を図るものとし、営利を目的とする活動及び特定の個人、法人、その他の団体の利益を目的とする活動並びに運営資金の支出は行なわない。活動に際しては、関連法令の規定を遵守するものとし、独占禁止法等で規定される違法な情報交換等の活動は行ってはならない。

第4条(会員資格)

本会の会員資格は、次のとおりとする。

(1) 正会員 青島市及びその周辺に所在する日系企業とする。

各企業は原則として日本国籍を有する者を1名、代表者として選任する。

代表者は原則として日本国籍を有する者を代理人として指名できる。

正会員の代表者、日本国籍を有する職員ならびにその家族は正会員を構成するものとして本会の実施する活動に参加できる。

(2) 個人会員 正会員の企業に所属せず、青島市及びその周辺に居住し、日本国籍を有する個人とする。

(3) 特別会員 「在青島日本国総領事館」、「青島日本人学校」関係者とする。

第5条(会計年度及び理事・監事の任期)

本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

また、第9条に定める理事及び監事の任期も同一期間とする。

第6条(総会)

総会は、定時総会及び臨時総会とし、定時総会は、毎年期初に開催する。

臨時総会は、会長が必要と認める場合、または書面により正会員の5分の1以上の要求がある場合に、会長がこれを招集する。

なお、特定案件打ち合わせ、講演会、親睦会等の会合は、上記とは別に随時開催することができる。

第7条(総会決議事項)

総会は、正会員総数の2分の1以上の出席(委任状を含む。)をもって成立し、出席者の3分の2以上の賛成を得て、下記事項を決議する。

(1) 理事及び監事の選任及び解任

(2) 本規約の改正

(3) 活動報告及び会計報告の承認

(4) 活動計画及び会計予算の承認

(5) その他本会の運営及び存続に関わる重要事項

なお、前年度の活動報告及び会計報告、翌年度の活動計画及び会計予算は、期初開催の定時総会の議案としなければならない。個人会員は、総会及び臨時総会に出席できるが、議決権は有しない。

第8条(理事・理事会・監事)

- (1) 本会には、25名以内の理事で構成する理事会を置く
- (2) 会長1名、副会長、他の役職について、理事の互選により選出する。
- (3) 会長は、必要に応じて理事会を開催する。
- (4) 本会には監事2名を置く。
- (5) 理事及び監事は正会員の代表者・特別会員の中から定時総会において選出され、任期は1年とする。
- (6) 本会は名誉会長を置くことができる。名誉会長は理事会が推薦し、会長が委嘱する。
- (7) 本会は顧問を置くこととする。顧問は日本国駐青島総領事とする。

第9条(理事・監事の業務)

理事及び監事は、次の業務を担当する。

- (1) 会長は、本会の業務を統括し、青島日本人会を代表する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長不在の時はその業務を代行する。
- (3) 監事は、必要に応じて理事会に対し助言を行うと共に会計報告の監査を実施する。
- (4) 名誉会長は本会の諮問に応ずる。また、理事会に出席して意見を述べることができる。
- (5) 顧問は本会の諮問に応じる。また、理事会に出席して意見を述べるができる。

第10条(運営)

- (1) 本会の事務局は青島市内に置く。
- (2) 理事会の決議により、本会に、分会、委員会、学校運営理事会、事務局、その他の組織を置くことができる。
- (3) 「青島日本人学校」を本会の附属機構として設立し、本会理事会により設置される「学校運営理事会」が運営にあたるものとし、学校理事は本会会長がこれを委嘱する。学校理事の任期は1年とし再任を妨げない。

第11条(会費)

本会の運営は会費によるものとし、会費は別途会員規則に定めることとする。

第12条(会の解散)

本会は、総会の決議により解散することができる。

また、本会が解散する場合、残余財産は総会の決議に従い精算されるものとする。

2013年改定

青島日本人会会員規則(案)

第1条

この規則は、青島日本人会規約第4条に規定する会員に関し、必要な事項を定める。

第2条

本会の会員資格は規約第4条に定めるものとする。

なお「日系企業」とは 日本国法人および日本人個人が外商投資批准書上で25%以上の出資をしている法人およびその子会社並びに孫会社をいう。上記以外の者であっても、日本人の実質的な経営実態がある法人は理事会の承認により、会員となることができる。

第3条

本会に入会を希望する者は、所定の書面により申し込み、会長の承認を得なければならない。

退会を希望する会員は、その旨を書面により届け出、会費を完納の上、退会することができる。

なお、一旦支払われた会費については年度途中で退会した場合においても返還しない。

第4条

入会日は会長または理事会で承認された日とする。

第5条

以下の行為を行った会員は、理事会の決議に基づき本会を退会させることが出来る。

- (1) 会費の滞納が3ヵ月以上に及ぶ場合。
- (2) 本会の会員であることを利用した詐欺行為、押し売り、脅迫、中傷などを行った場合。
- (3) 組織ぐるみで違法行為(日本および中国の法律、法規)を行った場合。
- (4) 特定の企業の利益のためや、信用を得るため、宣伝に利用するためなどに、本会の後援、もしくは協賛などを無断で掲載した場合。
- (5) 入会時に申請内容を偽って入会したことが判明した場合。
- (6) 現地法人の登録変更などにより、会員資格がなくなった場合。
- (7) その他、本会及び会員の名誉を著しく損なう行為を行った場合。
- (8) 会員相互の個人情報、理事会及び各委員会での審議内容に関わる事項等の非公開情報を外部に漏洩した場合。

第6条

本会の年会費は以下のように定める。

- (1) 正会員の会費は年額1,200元とし、原則として4月中に納入する。
また、年度途中の入会者の会費は、入会月から年度末までの月数に100元を乗じたものとする。
ただし、10月以降に入会する場合は本年分に合わせて翌年の会費を納めるものとする。
- (2) 個人会員の会費は年額100元とし、原則として4月に年会費を納入する。
また、年度途中の入会者で、7ヶ月以上の期間がある場合は100元、6ヶ月未満の場合は50元を納入するものとし、1年間有効(翌年3月31日まで)の会員証を発行する。
- (3) 特別会員の会費は正会員と同様とする。
- (4) 会費の変更を行う場合、会員全体の意向を確認した上で進めるものとする。

第7条

この規則は、理事会の決議により改訂することができる。

青島日本人会理事会運営規則

第1条

この規則は、青島日本人会規約第10条に規定する理事会の運営に関し、必要な事項を定める。

第2条

理事会は、定例理事会と臨時理事会とし、定例理事会は原則として四半期毎に開催する。
臨時理事会は、理事長が必要と認めるとき、または理事の過半数から要求があった場合に開催する。

第3条

- (1) 理事会は会長が招集するとともに、会長が議長を任命する。
- (2) 理事が帰任等によりその職務の遂行が困難となった場合には、その理事の所属する法人の新任者、またはその理事が所属する分会が後任者を推薦した場合には理事会の承認によりその推薦された者がその残りの任期を全うする。なお、帰任等により任期中に会長がその職務の遂行が困難となった場合には、理事会の決議により副会長の中から後任の会長を選出する。

第4条

理事会は理事総数の3分の2以上の出席(委任状を含む)によって成立するものとし、理事会の決議は出席理事数の過半数の賛成を必要とする。

第5条

- 理事会は、次の各号に掲げる事項を審議し、決定する。
- (1) 理事の選任及び解任、定款の改正、本会の解散の総会への付議
 - (2) 事業報告及び会計報告並びに事業計画及び収支予算の総会への付議
 - (3) 本会が行う事業の基本方針の決定
 - (4) 重要な財産の処分及び取得
 - (5) 本会の運営に関する諸規則の制定及び改廃
 - (6) 分会、委員会、学校運営理事会、その他本会の運営に必要な組織の設置
 - (7) 会員規則第2条で理事会の承認が必要とされる入会の承認
 - (8) 前各号に掲げるもののほか、本会の運営に関する重要事項

第6条

第5条5号に定める規則とは、次に掲げるものとする。

- (1) 会員規則
- (2) 同好会管理規定

第7条

理事会に付議する議案は、会長が提出するものとする。ただし会長承認のもとで事務局長が代行することを妨げない。

第8条

理事はやむをえない場合には、代理人を理事会に出席させることができる。

第9条

この規則は、理事会の決議により改訂することができる。

第5号議案

2013年度 青島日本人会 理事及び監事(案)

	名前	企業名	
理事	青木 邦夫	丸紅(青島)有限公司	総経理
理事	井上 總	青島丸魯大食品有限公司	総経理
理事	江口 規和	阪和商貿(青島)有限公司	総経理
理事	大芝 光輝	青島光輝工芸品有限公司	総経理
理事	折口 史明	青島永旺東泰商業有限公司	総経理
理事	蔭島 末彦	青島日東食品有限公司	総経理
理事	加藤 英次	在青島日本国総領事館	首席領事
理事	兼重 清史	株式会社山口銀行 青島支店	支店長
理事	上村 等	全日本空輸株式会社青島支店	支店長
理事	鈴木 純一	丸紅纖維(上海)有限公司 青島分公司	副総経理
理事	高橋 伸彦	三菱東京UFJ銀行(中国)有限公司 青島支店	支店長
理事	竹内 達児	青島藤華服装有限公司	総経理
理事	竹本 伸輔	日郵物流(中国)有限公司 青島分公司	総経理
理事	田中 博之	青島松下電子部品(保税区)有限公司	総経理
理事	手代木和人	三菱商事(青島)有限公司	総経理
理事	根占 浩司	雅瑪多国際物流有限公司青島分公司	営業経理
理事	畑中 俊昭	東麗医療科技(青島)股份有限公司	総経理
理事	蓮見 昌治	青島川電鋼板加工有限公司	総経理
理事	樋口 達之	三井物産(青島)有限公司	総経理
理事	廣瀬 俊	みずほコーポレート銀行(中国)青島支店	支店長
理事	藤田 雅規	新日清制粉食品(青島)有限公司	総経理
理事	船越 隆之	日本興亜財産保険(中国)有限責任公司山東分公司	首席代表
理事	北条 尚子	日本貿易振興機構(JETRO)青島代表処	所長
理事	山田 眞久	青島萩原工業有限公司	総経理
理事	渡部 英司	伊藤忠(青島)有限公司	総経理
監事	大谷 典義	青島扶桑精製加工有限公司	総経理
監事	清水 康継	獅王日用化工(青島)有限公司	総経理

第6号議案

2013年度事業活動計画

青島日本人会会長 青木邦夫

1. 全般

青島日本人会は1990年に創設され、今年で23年目を迎えます。その間青島駐在の諸先輩方のご努力・ご尽力により年々順調に発展し、今では会員企業400社を超える会となりました。

また青島における日本人会社会においては、青島総領事館・ジェトロ青島事務所・日本人学校等、海外で生活するうえでのインフラは着実に充実して参りました。

一方でこれまで比較的平穏な都市と考えられていた青島で昨年反日デモが発生するなど、我々を取り巻く環境は大きく変化した一年となりました。しかしながらこうした厳しい時期だからこそ、明るく元気で活発な日本人社会を作っていく、お互いに助け合いより大きな力が発揮できるコミュニティーを育てていく必要があるのではないのでしょうか。青島日本人社会の良いところは、非常にまとまった結束力の強いコミュニティーがある、日本で仕事・生活をしていたら決して知り合いになることはなかったであろう方々が、同じ時期青島で生活しそれぞれ交流を深められるところであると思います。帰国の際青島に駐在してよかったな、青島で生活して楽しかったなど一人でも多くの方に感じて頂けるよう、日本人会としては引き続き会員の皆様に交流の場・機会・情報の提供をしていきたいと考えています。会員各位の皆様には本総会も含め今後積極的に各活動に参加して頂きたくお願い申し上げます。会員各位の主体的な活動への参加、忌憚のない意見を各部会活動であげて頂き、全員参加型の日本人会の運営を目指していきたいと思えます。

また、会員各位の交流・連携を深めるだけでなく、中国の方々とも積極的に交流を図っていかねばならないと思えます。

元日本人会名誉会長の太谷さんが青島を去る際、「我愛青島」という文章を残され青島を後にされました。縁あって青島で仕事をしている、住んでいる青島が好きになる、その意味でも地元貢献・地域貢献活動は今後の日本人会活動の重要な活動のひとつであると認識しています。

昨年は残念な事件がありましたが、日本と中国は隣人同士、嫌いになったからと言ってそれぞれが引っ越すわけにもいきません。日中はお互いの文化・歴史を尊重しながら、友好を深めていかねばなりません。最後に繰返しとなりますが、青島日本人会も時代の流れ、発展に合わせて変わっていく必要があると思えます。開かれた日本人会の運営を目指していきますので、是非とも積極的な活動への参加とご意見を寄せて頂きたく、皆様の更なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。

2. 活動計画(案)

○青島市政府関係機関との交流を強化し、青島における円滑な企業活動環境の整備、青島在住日本人の生活環境向上のための提言活動。

○青島日本人学校の運営

○安全情報等各種情報の収集、発信。他国、他駐在員との交流及び情報交換。

○青島進出日系企業に対する、有益な情報提供及び交流の場の提供。

○青島日本人会ホームページの内容の充実。

○地域貢献活動への取組み

今年度も益々のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

3. 商工会

2013年度の活動方針

全人代(3/5-17)が開催され、新指導体制が動き出しました。最大の課題は環境対策、汚職撤廃と過剰生産です。内需に賭ける期待は益々大きくなりました。また、中国独自の宇宙ステーション建設がスタートする希望の年でもあります。私達企業を取り巻く環境は、これから拍車をかけて変化していきます。企業の真価を問われる本番の年となると言えるでしょう。現在、中国における日系企業は2万社を超えました。1,000万人以上もの

雇用を生み出しています。世界のGDP3位と2位の国である日本と中国が世界経済に与える影響は大きく、1社でも多くの企業が、中国で成功を収め、中国と共に発展していくことを願っています。そのためには、私達はこれまで以上に中国のことを知り、理解する必要がありますし、中国の人たちにも日本のこと、日系企業の中国での貢献のことを知ってほしいと思います。私達商工会は、前年にも増して、これから起こるであろう変化を先取りし、総領事館、JETRO等と協力し、皆様企業に役立つ情報発信を行ってまいりたいと思います。

(1) 交流とセミナーについて

青島市政府が今年初にオープンした城市規HUA展覧館(青島市の都市計画の歴史とこれからの発展計画をビジュアルで知る施設)の参観を行います。

また各種セミナーを開催します。商工会全体セミナーでは、法務・財務・税務・労務等の各企業共通のものを取り上げて行きます。また、商工会の4つの専門部会がありますが、

①食品部会、②繊維部会、③機械・電気・化学部会、④流通・サービス部会の

それぞれの部会でも、専門フィールドに立ったセミナーや工場見学や懇親会を実施してまいります。

(2) 提言について

市政府・機関並びに他国商工組織との交流を進め、更には日本商会白書などを通じて、関係機関へ提言します。今年3月には突然の召集ではありましたが、青島市政府が外資企業を囲む座談会があり、出席する機会を得ました。日本企業と政府との交流を一層活発にして頂きたいと申し上げました。また企業経営に大きな影響を与える施策については、十分な対応時間が取れるよう、又、所管部署により解釈や対応が異なることのないように、進出企業の発展をよりサポートするよう折に触れ今後も申し入れていきたいと 思います。

以上、皆様と共に、この時代を生き、この青島で生活、ビジネスが出来る幸運に感謝し、新しい一歩をともに元気に歩んで参ります。

今年度もどうかよろしくお願い致します。

4.生活文化会

- ① 各種親睦活動・生活文化関連活動の主催及び支援
- ② 青島日本人会運動会・フリーマーケット&スポーツ大会・新年会の企画実施。
- ③ 特別講演会の開催。
- ④ 青島総領事館と連携し、青島ジャパンディの開催
- ⑤ ちんたお文庫運営に対する支援
- ⑥ 各同好会・婦人会への活動応援、支援
- ⑦ 青島生活情報の発信
- ⑧ 青島の文化・歴史についての調査、研究に対する支援
- ⑨ 地域貢献活動への参加、推進

5.青島日本人学校運営理事会

学校運営理事会は、領事館、学校長、PTA, と日本人会の理事で構成され毎月1回開催されています。本年より、日本人会の直属の組織となりましたので会員の皆様への情報提供を密にし、学校を身近に感じていただけるようにしたいと考えております。会員の皆様には引き続き、児童、生徒の入学をお願いするところですが、まだ学校を覗いておられない方も沢山おられると思います。一度来て見ていただいて、安心して本社に推薦できるようなことを企画したいと思います。今年は学校創立10周年になります。記念会を考えておりますが、同時に会員社からのご寄付も募りたいと考えております。何卒、厚いご支援、更なるご尽力をお願い申し上げます。

第7号議案

2013年度 予算案
(2013年4月1日～2014年3月31日)

2013年4月1日
(単位:人民元)

収入の部		支出の部	
1. 前年度繰越金	480,968	1. 事務局費	240,000
(うち233600元は13年度会費)			
		2. 商工会活動費	80,000
		全体会	25,000
2. 2011年度会費収入	500,000	部会	55,000
法人社、個人	260,000		
(14年度前受金)	240,000	3. 生活文化関連費	115,000
		婦人会	5,000
3. 臨時会費収入	145,000	ちんたお文庫	35,000
・総会懇親会会費	45,000	運動会	5,000
・新年会会費	100,000	月刊青島	45,000
		歴史保存会	15,000
		予備費	10,000
4. 銀行利子	8,500	4. 会議費	150,000
		総会	45,000
		新年会	105,000
5. その他(寄付など)	15,532	5. 日本人学校支援費	120,000
		6. ジャパンデー関連行事	40,000
		7. 情報整理(H. P改修等)	10,000
		8. 特別講演会の開催	30,000
		9. 安全対策活動費	15,000
		10. 予備費	350,000
		次年度繰越金	0
【合計】	1,150,000	【合計】	1,150,000

【資料1】2012年度全般的活動(出来事)

4月12日	日本人学校入学式
4月14日	日本人会総会
5月18日	特別講演会(ANA共催)
6月18日	運動会
10月13日	学校運動会
11月17日	学習発表会
12月15日	フリーマーケット&スポーツ大会
12月18日	天皇誕生祝賀会
1月26日	新年会
3月9-11日	ブランド展(ジャパンデイ)
3月11日	日本人学校卒業式
3月19日	大気汚染対策講演会(総領事館共催)